

〈保育園における感染症の登園めやす〉

保育園は集団で長時間生活を共にする場です。

登園に際しては、以下の配慮をお願い致します。

①感染症の集団発生や流行に繋がらないこと

②こどもの健康(身体)状態が、保育園での集団生活に適應できる状態に回復していること

* 医師が記入した登園許可書が必要な感染症

病 名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹（はしか）	発症1日から発しんの出現の4日後まで	解熱後3日を経過してから
インフルエンザ	発症24時間前から発症後3日間が最も高く、通常は7日以内に感染力は減少する	発症後5日を経過し、かつ解熱後3日を経過してから
風しん	発しんの出現の1週間前から後5日間くらい	発しんが消失してから
水痘（みずぼうそう）	発しん出現2日前から痂皮(かさぶた)形成まで	全ての発しんが痂皮化してから
流行性耳下腺炎（おたくふかせ）	発症2日前から耳下腺腫脹後5日	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫れが発現したのち5日を経過し、かつ全身状態が良好になってから
結核		感染の恐れがなくなってから
咽頭結膜熱（プール熱） アデノウイルス	発熱・充血など症状が出現してから数日間	おもな症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	充血・目脂（めやに）など症状が出現した数日間	感染力が非常に強い為結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、席出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌薬による治療が終了してから
腸管出血性大腸菌感染症 O-157 O-26 O-111 など		症状が始まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間を開けて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウィルスが呼吸器から1～2週間、便から数週間～数か月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで